

# EV超小型モビリティ デザインコンテスト 企画



**APEV**

電気自動車普及協議会  
Association for the Promotion of Electric Vehicles

Ver1.05

# プロジェクト概要：企画の狙い



昨今、超小型モビリティに関する行政の動きが注目され、民間でも種々の試みがなされています。当協議会といたしましても、活動を活性化して社会に対して訴求すると共に、モノ作りの楽しさとワクワク感を次世代を担う学生に体験していただきたいという趣旨から本コンテストを企画いたしました。

## 『EV超小型モビリティ デザインコンテスト』

- ・超小型モビリティの3次元デザイン<sup>(\*注1)</sup>案を募集、審査、発表する。  
<sup>(\*注1)</sup>：国交省の定める超小型モビリティ規格に適合した電気自動車（EV）の上屋（うわや）のデザイン
- ・単なる車のデザインだけではなく、  
**社会・街・地域の人々・文化等との関わりも含めた環境デザイン**を募集。
- ・「18歳以上の学生・原則2名以上」の**チームで応募**～ 個のネットワークと融合を促し、  
アイデアを皆で広げ育てる環境を用意する。
- ・一般的なコンペとは違い、製作活動の進捗を**SNSを活用して共有**～ 製作プロセスも評価対象とする。
- ・最終審査においては、3次元デザインツールを提供する。
- ・デジタルツールは、単に道具としてではなく、素材として捉える事を前提に提供する。
- ・2014年以降も当コンテストを継続開催し、**デザイン→設計→実車製作まで**を視野に入れる。

# プロジェクト概要：超小型モビリティとは



## 【超小型モビリティとは？】

日本の国交省が昨年発行した「超小型モビリティ導入に向けたガイドライン」

<http://www.mlit.go.jp/common/000212867.pdf>

では超小型モビリティを、次のように定義しています。

「自動車よりコンパクトで小回りが利き、環境性能に優れ、地域の手軽な移動の足となる1人～2人乗り程度の車両」更に「導入・普及により、CO2の削減のみならず、観光・地域振興、都市や地域の新たな交通手段、高齢者や子育て世代の移動支援等の多くの副次的便益が期待される」とされています。

日本の国交省が本年2月1日に報道発表した「超小型モビリティの導入について」の

「超小型モビリティの認定制度について」

[http://www.mlit.go.jp/jidosha/jidosha\\_fr1\\_000043.html](http://www.mlit.go.jp/jidosha/jidosha_fr1_000043.html)

では、対象とする超小型モビリティは以下の要件を全て満たすものを認定制度の対象としています。

- ① 長さ、幅及び高さがそれぞれ軽自動車の規格内のもの
- ② 乗車定員2人以下のもの（2個の年少者用補助乗車装置を取り付けたものにあっては、3人以下）
- ③ 定格出力8キロワット以下（内燃機関の場合は125cc以下）のもの
- ④ 高速道路等を運行せず、地方公共団体等によって交通の安全と円滑を図るための措置を講じた場所において運行するもの

# プロジェクト概要：組織



主催： 電気自動車普及協議会

後援： 経済産業省

\* アイウエオ順

国土交通省

東京大学大学院情報学環

ダッソー・システムズ



# プロジェクト概要：募集対象と審査方法



## 【募集対象】

日本及び海外の学校の学生（18歳以上）2人以上のチームを募集する。

**現在募集中です。**

## 【審査方法】

- 1) 1次審査：実際の使用シーンを含めた車両コンセプト+アイディアスケッチ（手書き可）
- 2) 最終審査：1次審査に合格した物を3次元デザインする。

## 【審査基準】1次・最終審査共通

コンセプト	コンセプトが明快である。（EV超小型EVリリーと社会・街・地域の人々・文化等との関わりも含めた環境デザインを明確にイメージし表現してください）
オリジナリティ	アイデアの独創性。 ※応募者自身のオリジナル作品であり、国内外で未発表のものに限ります。
実現性	アイデアが将来実現でき説得力がある。
参加者間コミュニケーション	SNS等の活用 ※審査における課題提出物だけでなく、制作活動のプロセス（SNS上の情報発信内容及び頻度、交流が対象）も評価対象となります。

## 【使用ツール】

最終審査に進むデザインは、3次元デザインソフトを使用します。

3次元のスケッチを作成するソフトはコンテスト期間中、1次審査を通過した参加チームへ無償で貸与されます。

3次元デザインに必要なハードは、協賛企業各社から1次審査を通過した参加チームへ無償で貸与される予定です。

応募者はSNSを使用して主催者、応募者相互及びオブザーバーとの情報交換を行う予定です。

※ソフト・ハードなどをご提供いただける企業を引き続き募集中です。

# プロジェクト概要：審査員・賞品



## 【審査委員】

### ◆審査委員長

奥山 清行 様 (工業デザイナー・KEN OKUYAMA DESIGN 代表)

### ◆審査委員

安藤 忠雄 様 (建築家・東京大学名誉教授)

織作 峰子 様 (写真家・大阪芸術大学写真学科教授)

河口 洋一郎 様 (東京大学大学院 情報学環教授・CGアーティスト)

藤本 彰 様 (カースタイリング出版・代表)

田嶋 伸博 (電気自動車普及協議会 代表幹事)

## 【賞品】 \* ユニークな賞品

\* アイウエオ順

優秀作品となったチームに対して、

### 「電気自動車 (EV) に関する特別な体験」を提供

- 例)
- ・ 著名なデザイナーとの交流機会
  - ・ ハワイなど海外の環境エネルギー関連展示会への招待&発表機会
  - ・ 海外EV企業・団体訪問及び交流 等

# プロジェクト概要：日程



## 【日程】

- 公式発表 . . . 2013年1月15日（火）
- 参加チーム募集締め切り . . . 2013年5月8日（水）
- 1次審査参加作品締め切り . . . 2013年6月28日（金）
- 1次審査結果発表 . . . 2013年7月10日（水）
- 最終審査作品締め切り . . . 2013年9月27日（金）
- 最終結果発表 . . . 2013年10月11日（金）
- 東京モーターショーSMART MOBILITY CITY 2013  
で表彰式とカンファレンス . . . 2013年11月末（予定）
- APEV主催の「超小型モビリティ普及促進と  
& 学生デザインコンテスト結果報告」シンポジウム  
. . . 2014年3月初旬（予定）

※日程は変更の可能性があります。

# コンテスト実施の流れ



## ★参加チーム募集締め切り 5月8日

- ①SNSアカウント登録 ②事前アンケート回答
- ③課題製作 ④SNSによる交流

## ★1次審査参加作品締め切り 6月28日

- ①課題提出 ②事後アンケート回答

## ★1次審査結果発表 7月10日 1次審査通過チームは、下記へ

- ①3次元CADソフト・ハードウェア貸与 ②3次元データ作成学習
- ③課題製作 ④SNSによる交流 ⑥交流イベント

## ★最終審査作品締め切り 9月27日

- ①課題提出 ②事後アンケート回答

## ★最終結果発表 10月11日

発表及び表彰方法は未定

## ★東京モーターショー カンファレンス 11月末（予定）

入賞作品紹介

## ★APEV主催のシンポジウム 2014年3月初旬（予定）

入賞作品紹介

※日程は変更の可能性がありま

す。

# 「超一流アーキテクト、デザイナーによる評価」



© Tadao Ando Architect & Associates



Association for the  
Promotion of Electric Vehicles  
電気自動車普及協議会



地域・インフラ・環境デザインの創出



環境デザインと合致する意匠デザインの創出



# 審査員：学生への最高の機会提供



## 超一流のプロフェッショナル陣による審査

奥山 清行



(工業デザイナー)

安藤 忠雄



(建築家)

河口 洋一郎



(CGアーティスト)

織作 峰子



(写真家)

藤本 彰



(カースタイリング出版・代表)

田嶋 伸博



(APEV代表幹事)

# プロジェクト概要：参加学生メリット



## 【参加学生へのメリット】

- ・ 学生のコンセプトやデザイン提案力の養成
- ・ 学生のキャリア形成と社会に対するアピール
- ・ 学生のデジタルツールの活用スキル養成
- ・ 学生のデザインが商品化される可能性がある

# プロジェクト概要：協賛企業



## 【協賛】

株式会社ストラタシス・ジャパン  
株式会社ベネッセホールディングス  
株式会社ワコム  
デル株式会社  
日産自動車株式会社  
日本ヒューレット・パッカー株式会社  
レノボ・ジャパン株式会社  
株式会社アスプロス

**※協賛社を引き続き募集しています。**

**お問い合わせは、 [contest@apev.jp](mailto:contest@apev.jp)まで。**

# 募集要項（参加学校）



## ■参加方法

URL<[http://www.apev.jp/news/2013design\\_contest\\_entry.doc](http://www.apev.jp/news/2013design_contest_entry.doc)>よりエントリー用紙をダウンロードし、事務局あてに送付ください。

contest@apev.jp（担当：安嶋 言一郎） ※募集要項詳細は、P13を参照してください。

## ■参加資格

1. 日本及び海外の大学、専門学校 of 学生(18歳以上)2人以上のチームでの参加が必須となります。
2. 国籍は問いません。
3. SNSにアカウント登録の上、規定の進捗報告など情報発信をすること。

## ■課題提出物 環境デザインと車両意匠デザインのコンセプト

### ★1次審査

- 実際の使用シーンを含めた車両コンセプト+アイディアスケッチ(手書き可)
- SNS活用による情報受発信

### ★最終審査

- 3次元CADデザインデータ
- コンセプトプレゼン資料
- SNS活用による情報受発信

※課題提出物はプロジェクトチーム単位に1つ提出すること。

※ 3次元のスケッチを作成するソフトは1次審査を通過した参加チームへ貸与されます。

# 注意事項



## ■注意事項

- ・応募作品は、応募者自身のオリジナル作品であり、国内外で未発表のものに限ります。
  - ・公序良俗その他法令の定め反するもの、誹謗中傷を含むもの、著作権その他第三者の権利を侵害しているものは、審査の対象外となります。また、受賞発表後であっても、これらの条件に反していることが判明した場合、受賞を取り消します。
  - ・他のコンペへの二重応募は認められません。また、応募後は主催者の同意なしに他に公表しないものとします。
  - ・提出された資料は原則として返却いたしません。必要な場合は予めコピーを残した上でご応募ください。
  - ・作品制作における費用はすべて応募者でご負担ください。
- なお、3次元のスケッチを作成するソフトは期間中1次審査を通過した参加チームへのみ無償貸与されます。
- ・受賞の有無にかかわらず、応募作品に関する意匠、発明(特許)、実用新案、商標、著作物その他全ての知的財産並びにその出願権及び知的財産権は、応募者及び主催者の共有とし、その実施、使用、及び、実施若しくは使用の許諾に当たっては主催者の許可を必要とします。
  - ・応募にあたっては、必要に応じて応募者自身で権利保護等の措置を講じてください。
- また、第三者との間で権利侵害などの問題が生じた場合、主催者は一切の責任を負わないものとします。  
応募者が自己の責任と費用においてこれらの問題を解決してください。
- ・主催者は、受賞作を展示会やウェブサイト、または主催者が発行する各種の媒体で発表にすることができます。
- また、主催者はマスコミに対しプレスリリース等で受賞情報を提供します。
- ・応募者は、応募作品に関する詳細設計化、模型製作化又は商品化が実現した場合、詳細設計化、模型製作化又は商品化を協力する製造者などの商品化等協力者との間で、権利帰属、実施又は使用の許諾その他の権利関係について、協議を行う義務が生じます。主催者は、その協議の仲介を行うことがあります。
  - ・詳細設計化又は模型製作化又は商品化が実現した場合、商品等に当コンペとの関係を表現していただく場合があります。
  - ・受賞者の氏名、年齢、経歴などは、印刷物、ウェブサイト及びマスコミで公表させていただきます。
  - ・作品や書き込みの内容は研究目的で利用される可能性があります。あらかじめご了解ください。

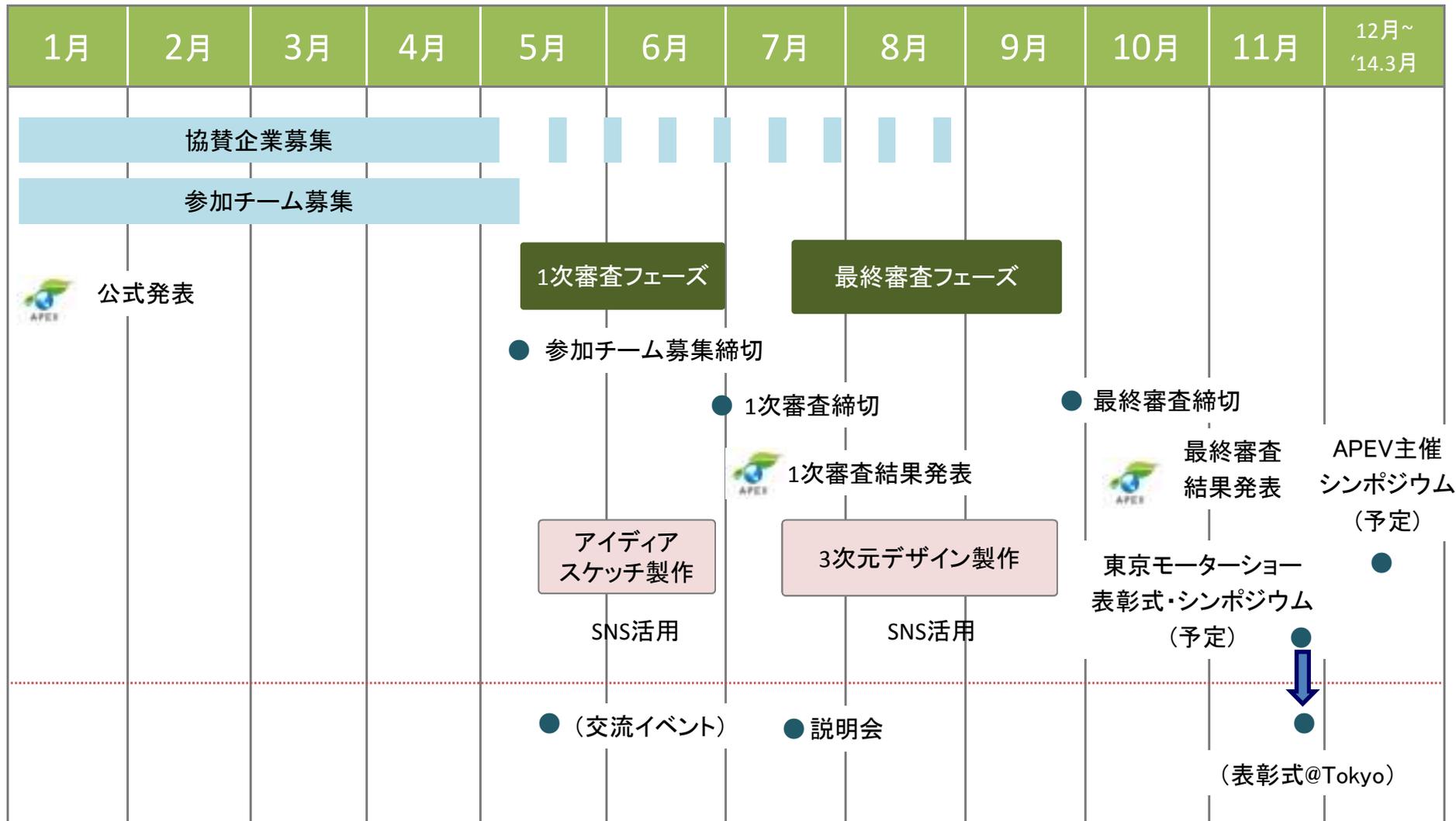
## ■個人情報の取り扱いについて

応募の際に記入していただいた個人情報は、以下の目的で必要な範囲で利用されます。

また、運営事務局が厳重に管理し、漏洩、流用、改ざん等の防止に努めます。

1.入選者への入選通知 2.本コンテストに関する事項の通知3.応募作品に関する応募者への問い合わせ

# コンテストの活動スケジュール



皆様のご支援・ご協力、よろしくお願いいたします。

